

性器カンジダ症について

性器カンジダ症はカンジダ属による感染症で、女性に多く、男性には少ないです。性感染症の1つですが、血糖コントロール不良の糖尿病やステロイド剤内服中などの免疫低下状態では、性感染症ではない通常の感染症として認めることもあります。

症状

亀頭部、環状溝、包皮のかゆみ、痛み、白苔(白い粉)、発赤が多いです。シャワーの際に石鹸などで洗ったときに痛みが増強します。発赤はびまん性、紅色丘疹、小水疱、びらんを認めることがあります。

検査

培養でカンジダ属を確認しますが、結果が出るまで数日かかります。症状、既往歴、局所所見で診断することが多いです。

治療

イミダゾール系抗真菌薬(1%エンペシドクリーム、1%フロリードDクリーム、1%パラベールクリーム、1%オキナゾールクリームなど)の局所塗布を行います。クリーム剤で接触性皮膚炎を起こす場合には軟膏に変更します。